

中学公民プリント（過去問類似）

金融と日本銀行

名前

得点

/10

問1 資金の貸し借りが行われる際、借りた側が元金（もとの金額）の使用に対する対価として、貸した側に支払うものを何といいますか。銀行と預金者の間、あるいは銀行と企業の間でのやり取りにおいて発生する名称を答えなさい。（2019年 埼玉県公立入試 類似）

1. 利子 2. 配当 3. 手数料 4. 元金

問2 銀行と、預金を行う家計、および資金を借りる企業との間で行われる利子のやり取りにおいて、銀行が利益を得るための条件として適切なものはどれですか。（2024年 神奈川県公立入試 類似）

1. 企業が銀行に支払う利子の総額が、銀行が家計に支払う利子の総額を上回っていること。 2. 家計が銀行から受け取る利子が、企業が銀行に支払う利子よりも多く設定されていること。 3. 景気が悪化した際に、銀行が貸出金利と預金金利の差をなくして資金の流動性を高めること。 4. すべての利用者が一定の預金を行うことで、銀行が利子を支払う必要がなくなること。

問3 日本銀行が果たす役割の一つに「銀行の銀行」というものがあります。この役割の具体的な内容として最も適切なものはどれですか。（2019年 茨城県公立入試 類似）

1. 一般の銀行などの金融機関との間で、資金の貸し出しや預金の受け入れを行う。 2. 一般の家計や企業に対して、住宅ローンの提供や事業資金の貸し出しを直接行う。 3. 税金や社会保険料などの国庫金を管理し、政府への資金の貸し出しを行う。 4. 日本国内で唯一、紙幣を発行し、その流通量を調整することで物価の安定を図る。

問4 日本の実質経済成長率の推移をたどると、2008年から2009年にかけて数値が急落し、2009年度にマイナス5.7%という極めて低い数値を記録した時期があります。この要因となった世界的な経済危機の名称として正しいものはどれですか。（2024年 千葉県公立入試 類似）

1. 世界金融危機（リーマン・ショック） 2. 第1次石油危機（オイル・ショック） 3. プラザ合意後の円高不況 4. アジア通貨危機

問5 日本銀行が「発券銀行」として、日本銀行券を独占的に発行し、その流通量を管理している最も大きな目的は何ですか。（2023年 愛媛県公立入試 類似）

1. 世の中の通貨の量を調整することで、物価の安定を図るため。 2. 政府の財政赤字を埋めるために、必要なだけ紙幣を増やすため。 3. 一般の銀行の利益を最大化するために、金利を固定するため。 4. 国民が自由に紙幣を印刷できるよう、技術提供を行うため。

問6 企業が新しい工場を建設するための資金を調達する際、銀行などの金融機関から借り入れるのではなく、自ら証券市場を通じて株式や社債を発行し、投資家から直接資金を集める仕組みを何と呼びますか。（2022年 岩手県公立入試 類似）

1. 直接金融 2. 間接金融 3. 消費者金融 4. 公定歩合

問7 好景気（好況）の際には、消費者の購買意欲が高まって商品の売れ行きが良くなり、企業の生産活動がより活発になります。このような経済状況において、物価が継続的に上昇し続ける現象を何といいますか。（2026年 福岡県公立入試 類似）

1. インフレーション 2. デフレーション 3. スタグフレーション 4. 円高

問8 日本銀行が景気回復を目的として、民間の金融機関が保有する国債を買い入れることで、市場に流通する通貨の量を増やす政策を何といいますか。（2025年 神奈川県公立入試 類似）

1. 売りオペレーション 2. 買いオペレーション 3. 預金準備率操作 4. マイナス金利解除

問9 資金の貸し借りが行われる金融市場において、元金に対する利子の割合を示す言葉として正しいものはどれですか。（2020年 神奈川県公立入試 類似）

1. 金利 2. 為替相場 3. 物価上昇率 4. 自己資本比率

問10 日本銀行が「政府の銀行」として活動する一番の理由はどれですか。（2018年 兵庫県公立入試 類似）

1. 国のお金を安全に管理し、支払いをスムーズにおこなうため 2. 日本銀行が利益をたくさん増やして、国をゆたかにするため 3. 一般の銀行よりも、もっと高い利子でお金を貸すため 4. 全国の人たちから直接税金を集めて、集計するため

答え合わせ・解説

問1	答え 1 利子	資金の貸借において、元金に対して支払われる対価を利子（または利息）と呼びます。銀行にお金を預けることは、銀行にお金を貸している状態であるため、預金者は銀行から利子を受け取ります。反対に、企業が銀行から設備資金などを借りる場合は、企業が銀行に対して利子を支払います。これに対し、株式会社が利益の一部を株主に還元するものは「配当」と呼ばれます。
問2	答え 1 企業が銀行に支払う利子の総額が、銀行が家計に支払う利子の総額を上回っていること。	家計から銀行へ預けられたお金は、銀行を通じて企業への貸し出しに回されます。銀行がこの業務を継続するためには、家計に対して支払う「預金金利」というコストよりも、企業から受け取る「貸出金利」という収益が大きくならなければなりません。この仕組みによって生まれる「利ざや」が、銀行の店舗運営費や従業員の給与、そして銀行自体の利益に充てられることとなります。もし預金金利の方が高くなれば、銀行は赤字となり、金融仲介の機能を維持できなくなります。
問3	答え 1 一般の銀行などの金融機関との間で、資金の貸し出しや預金の受け入れを行う。	日本銀行は、私たち個人や一般企業と直接取引を行うことはありません。その代わりに、民間の銀行などの金融機関を相手に資金を貸し出したり、預金を受け入れたりする役割を担っているため、「銀行の銀行」と呼ばれます。家計や企業に貸し出しを行うのは民間金融機関の役割であり、政府の資金を扱うのは「政府の銀行」、紙幣を発行するのは「発券銀行」としての役割です。
問4	答え 1 世界金融危機（リーマン・ショック）	2008年に発生した世界金融危機は、2009年度の日本経済に深刻な打撃を与え、大幅なマイナス成長をもたらしました。これは1974年度に第1次石油危機の後に記録した戦後初のマイナス成長を大きく下回る落ち込みでした。このように、グローバル化した現代の経済では、他国で発生した金融不安が短期間のうちに日本へ波及する仕組みになっています。
問5	答え 1 世の中の通貨の量を調整することで、物価の安定を図るため。	もし紙幣が際限なく発行され、世の中に出回る通貨の量が多すぎると、お金の価値が下がり物価が上昇するインフレーションを招く恐れがあります。逆に少なすぎると不況の原因になります。日本銀行は「発券銀行」として通貨の供給量を適切にコントロール（金融政策）することで、お金の価値を安定させ、経済が円滑に回るようにしています。
問6	答え 1 直接金融	企業が金融機関の仲介を経ずに、市場から直接資金を調達する方法を直接金融と言います。これに対し、銀行が預金者から集めた資金を企業に貸し出す仕組みを間接金融と呼びます。直接金融では、企業は株式を発行して出資を募ったり、社債を発行して借金をしたりすることで、広く一般の投資家から資金を確保します。
問7	答え 1 インフレーション	好景気のときには、モノやサービスに対する需要が供給を上回りやすくなるため、物価が上がり続けます。この現象をインフレーションと呼びます。これとは逆に、不景気で物価が下がり続ける状態はデフレーションと呼ばれます。
問8	答え 2 買いオペレーション	不況の際、日本銀行が市場の通貨量を増やして景気を刺激するために行う手法です。日本銀行が一般の銀行から国債を買い取り、その代金を支払うことで、銀行が企業や個人に貸し出せる資金を増やします。この一連の動きにより、世の中に出回るお金の量（マネーストック）が拡大します。
問9	答え 1 金利	借りたお金（元金）に対して、どの程度の割合で利子を支払うかを数値で表したものが金利です。一般的に「利回り」や「利率」とも呼ばれ、景気の状態や日本銀行の政策などによって変動します。金利が高くなると借り手の負担が増え、低くなると借りやすくなるため、経済活動に大きな影響を与えます。
問10	答え 1 国のお金を安全に管理し、支払いをスムーズにおこなうため	国が使う膨大なお金を個人の銀行で管理するのは大変でリスクもあります。日本銀行が政府の資金を管理することで、公共事業などの支払いを正確かつ確実におこない、国全体の経済活動が滞りなく進むように支えています。